

市政の最近のできごとを紹介します。



中越大震災から14年、想いを未来へ

追悼、支援への感謝、復興への誓いを全国に発信しようと、川口運動公園で追悼式典を行いました。震災の地・川口からの想いを1,000個の風船に込めて、空に大きく放ちました。(10月23日)



体育の日にスポーツ推進条例を施行

県内初のスポーツ推進条例施行を記念し、みしま体育館でセレモニーを開催。三島地域のスポーツ少年団の代表が「スポーツの力を活かし、長岡を元気にします」と宣言すると、会場の約600人から大きな拍手が送られました。(10月8日)



長岡産天然ガスで！長岡火力発電所

西部丘陵東地区に進出した(株)長岡火力発電所。南長岡ガス田で産出する天然ガスを使い発電しています。竣工式で磯田市長は「地産地消を目指す発電システムで、長岡の産業政策のPRになる」と述べました。(10月1日)



高梁市の復興へ、職員を派遣

7月の豪雨で甚大な被害を受けた岡山県高梁市の復興支援に10月から6カ月間、土木技術職員を派遣しています。また、北海道で9月に発生した地震の応援に、10月までに職員5人を安平町へ派遣。家屋調査などを支援しました。(9月26日)

大積スマートIC(仮称)、ニュータウン連絡道路の早期実現へ、地元の同盟会が要望



大積スマートIC(仮称)と長岡ニュータウン連絡道路の早期実現を目指して、地元住民などで組織された期成同盟会の総決起大会が、ハイブ長岡で開催されました。観光資源が豊富で、産業も集積する西部地区

に、「西の玄関口」としてスマートICを整備することで、市全体の観光と産業の振興につながると期待されています。

大会には、300人を超える市民が参加。意見発表で青葉台5丁目の町内会長・古川絹子さんが「長岡に新たな発展を呼び込む希望になります」とアピールしました。来賓で出席した磯田市長は「交流人口拡大や産業振興につながる大事な道路。関係機関と協力し早期実現を目指します」と応えました。(10月20日)



全国都市問題会議

全国の市長が 長岡の先進事例に高い関心

岡政策企画課 ☎39・2204



磯田市長は長岡市の市民協働の先進事例や産業政策を紹介



NaDeC BASEの視察

建築家・隈研吾さん

10月11日・12日の2日間、アオーレ長岡を会場に全国都市問題会議を開催しました。全国各地から市長や市議会議員などが集まり、「市民協働による公共の拠点づくり」をテーマに話し合いました。

長岡の魅力や施策を紹介

磯田市長は、子育ての駅やNaDeC BASEなど、長岡市の先進的な施策を紹介。参加者はメモを取りながら、熱心に耳を傾けていました。アオーレ長岡の建設に携わった建築家の隈研吾さん、アトディレクターの森本千絵

さん、森民夫前市長も登壇し、アオーレの理念や市民の創造力ある活用などを語りました。

2,000人が長岡に

同会議には約2,000人が参加しました。長岡をPRしようと、ナカドマでは枋尾のあぶらげや寺泊の番屋汁などを提供。火焰型土器や長岡開府400年のブースには、多くの人が足を止めていました。

また、中心市街地や山古志地域、生ごみバイオガス発電センターなどの視察も実施。宿泊などの経済効果もあり、長岡の魅力や先進事例を全国へ発信する機会となりました。

市外・県外へご紹介ください！

長岡マレ
ながおかまれ、ながおかせたち

お礼の品
いち押しを紹介！



中之島産の掘りたて **大口れんこん**

昨年の2倍、370品目に拡充！ 長岡のふるさと納税

今年度のふるさと納税も好調です。前年の同時期と比べて、2倍を超える寄付を全国からいただいています。

お礼の品を大幅拡充

お礼の品も、370品目と約2倍に拡充(10月1日現在)。一番人気のお米を

はじめ、日本酒や農産物、工芸品などを通じて、全国に長岡の魅力を発信しています。寄付金は「日本一のふるさと長岡」をつくるための重点施策に使わせていただきます。ぜひ、市外・県外の家族、友人に長岡のふるさと納税をご紹介ください。

岡政策企画課 ☎39・2361